



1 LH-1 B-B' 断面 (南西から)



2 LH-1 土器出土状況 (南から)



3 LH-2 C-C' 断面 (南西から)



4 LH-2 完掘 (南から)



5 LH-2 遺物出土状況 (南東から)



6 LH-5 断面 (南西から)



1 LH-5 完掘（南西から）



2 LH-6 B-B' 断面（北東から）



3 LH-6 A-A' 断面南西側（北西から）



4 LH-6 A-A' 断面北東側（北西から）



5 LH-6HF-1 周辺遺物出土状況（北から）



6 LH-6 石刃鎌出土状況（北東から）



1 LH-6 全景（北から）



2 LH-6HF-1 断面（北西から）



3 LH-6HP-1 断面（北から）



4 LH-6HP-3 断面（北西から）



5 LH-6HP-2 断面（北から）



6 LH-6HP-4 完掘（北西から）



7 LH-6HP-5 完掘（北東から）



1 LH-8 A-A' 断面 (北から)



2 LH-8 B-B' 断面 (西から)



3 LH-8 完掘 (北から)



4 LH-8HF-1 検出 (北から)



5 LH-8 土器出土状況 (北西から)



6 LH-8HP-1 断面 (北西から)



7 LH-8HP-2 断面 (東から)



8 LH-8HP-3 断面 (西から)



9 LH-8HP-3 完掘 (西から)



10 LH-8HP-4 完掘 (北東から)



11 LH-8HP-5 完掘 (北から)



1 P-143 断面 (南西から)



2 P-143 完掘 (南から)



3 P-144 完掘 (南から)



4 P-145 焼土検出 (東から)



5 P-148 断面 (南から)



6 P-148 完掘 (東から)



7 P-152 断面 (南から)



8 P-152 完掘 (南から)

図版 28



1 P-153 断面 (南西から)



2 P-153 完掘 (南西から)



3 P-154 断面 (南東から)



4 P-154 完掘 (北から)



5 F-14 断面 (東から)



6 FC-12 検出 (西から)



7 平成 30 年度調査範囲西側完掘 (北西から)



8 令和 2 年度調査範囲東側完掘 (北東から)



S-15

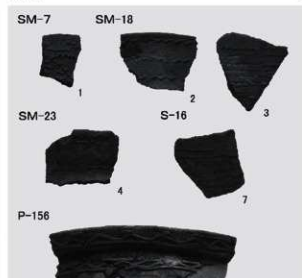


6 LH-1

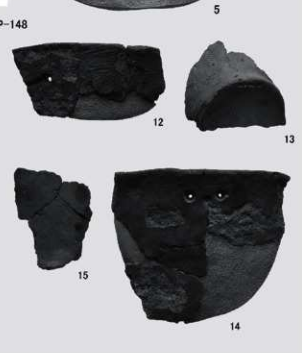
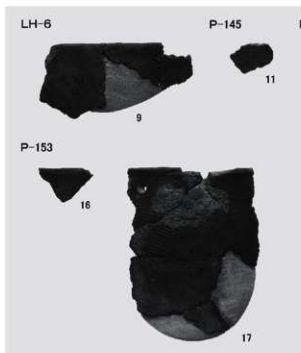
8



LH-8



10



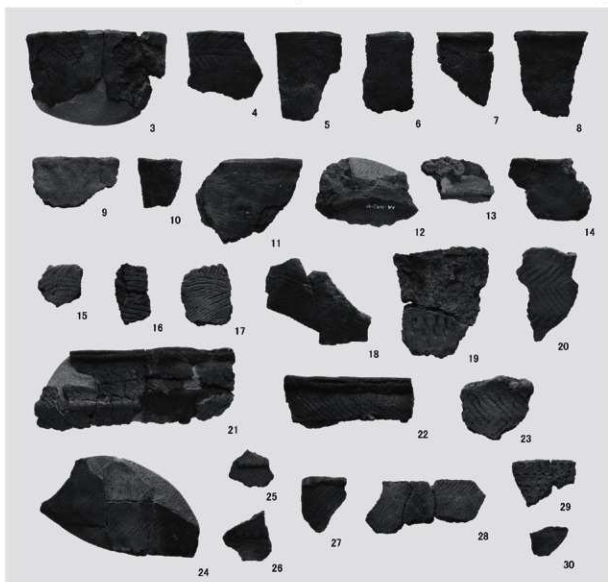
遺構出土の土器



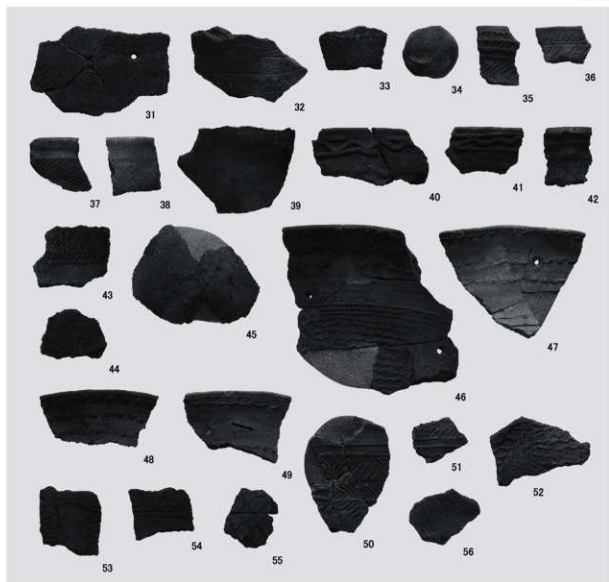
1



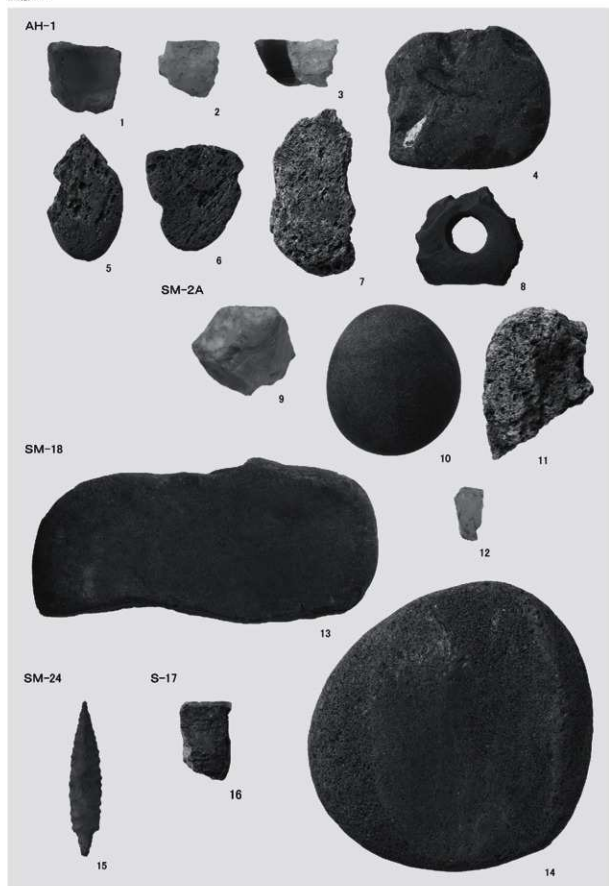
2



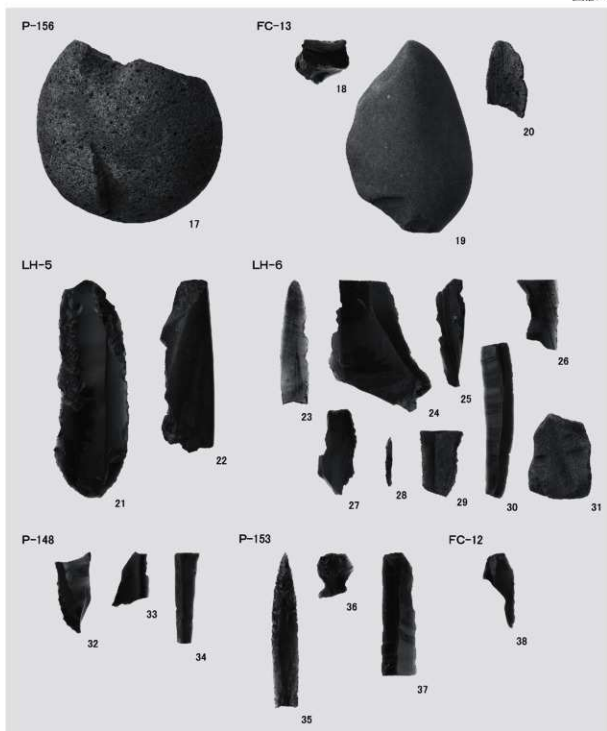
包含層出土の土器(1)



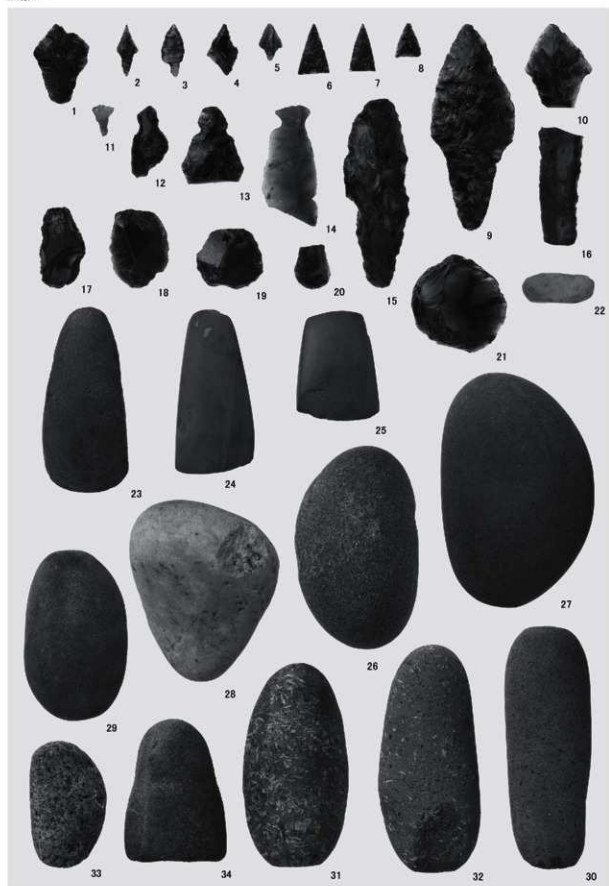
包含層出土の土器(2)



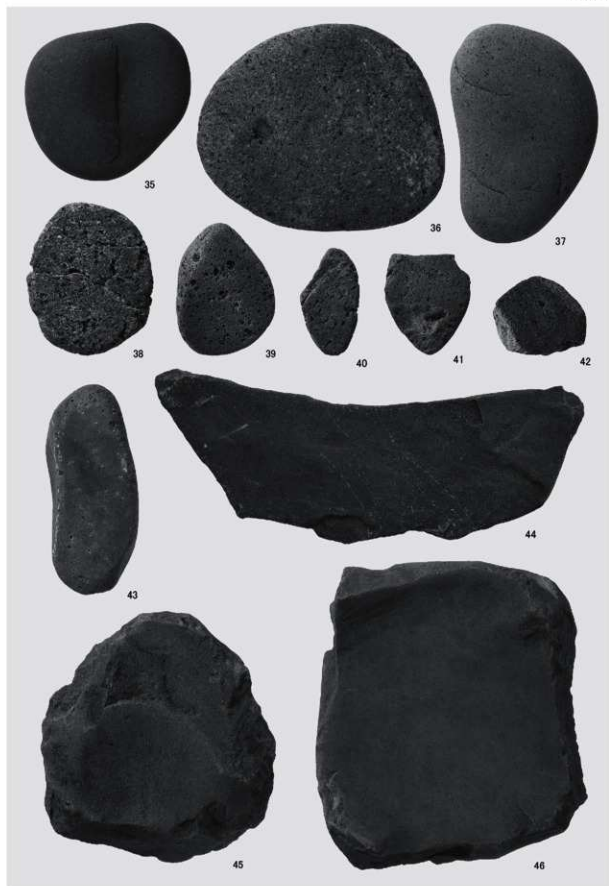
遠構出土の石器(1)



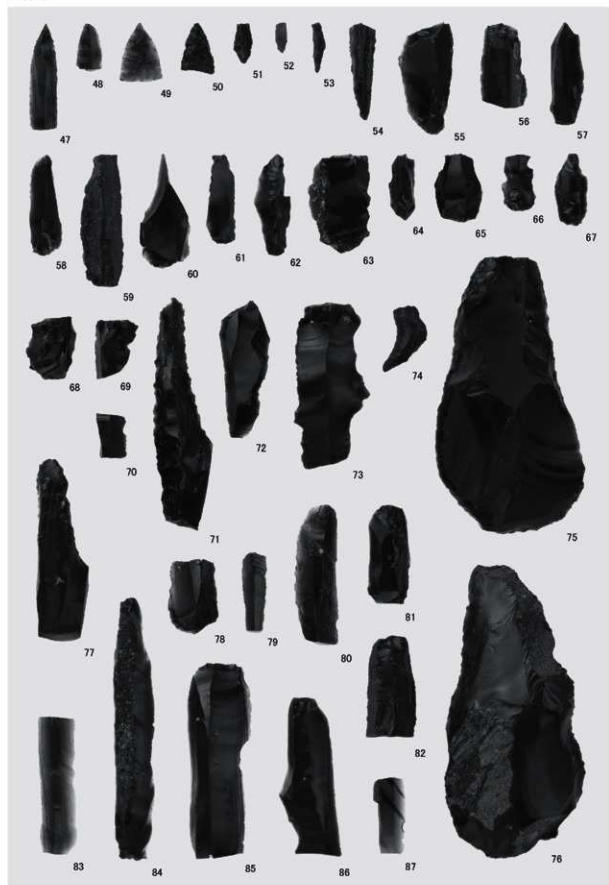
遺構出土の石器(2)



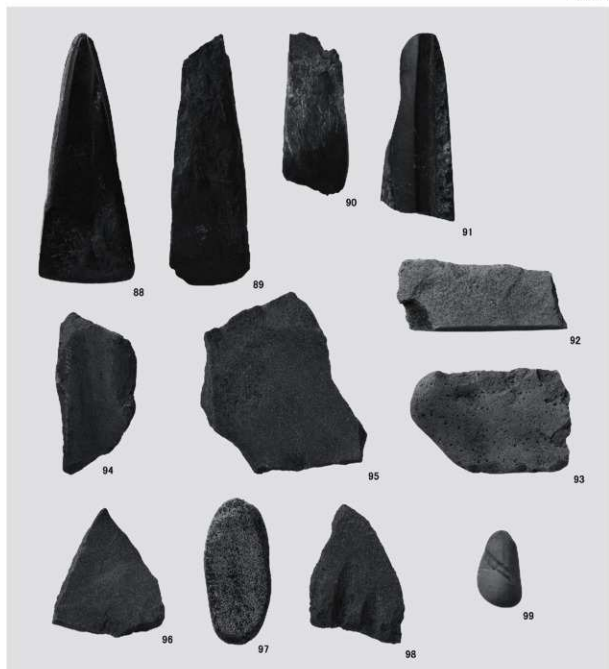
包含層出土の石器(1)



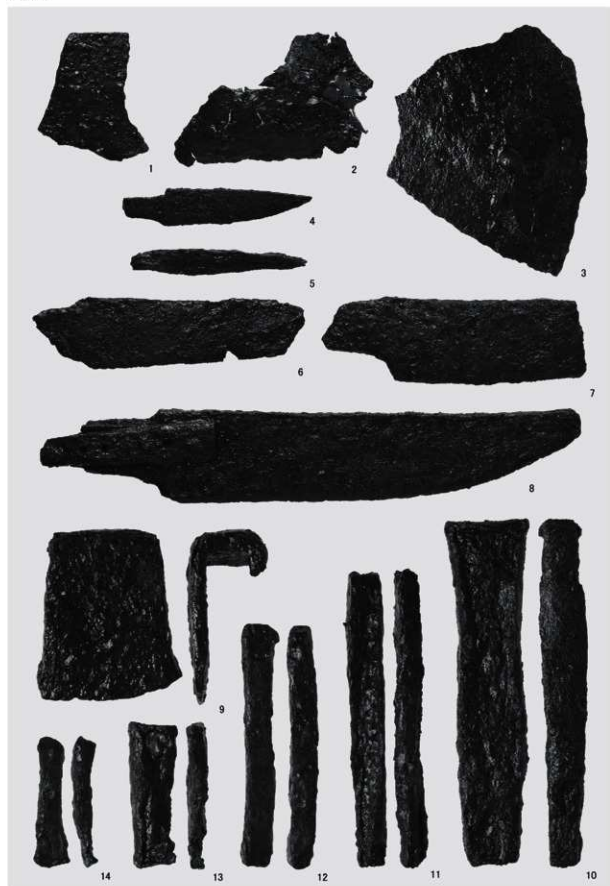
包含層出土の石器(2)



V層出土の石器(1)



V層出土の石器(2)

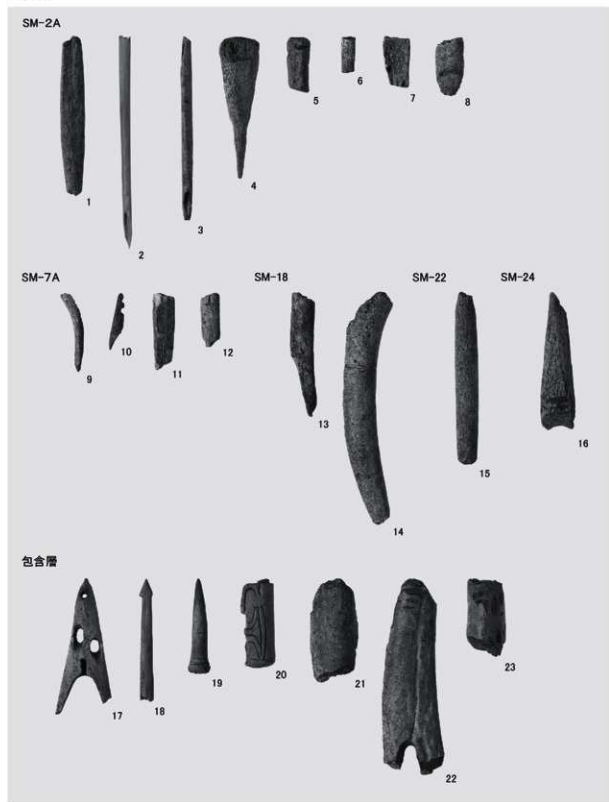


出土金属製品(1)

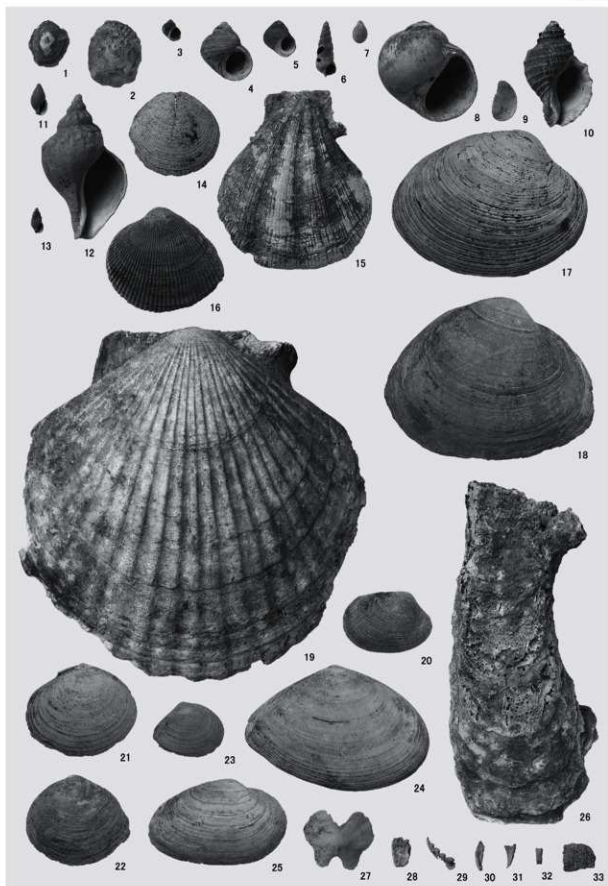


出土金属製品(2)・ガラス玉

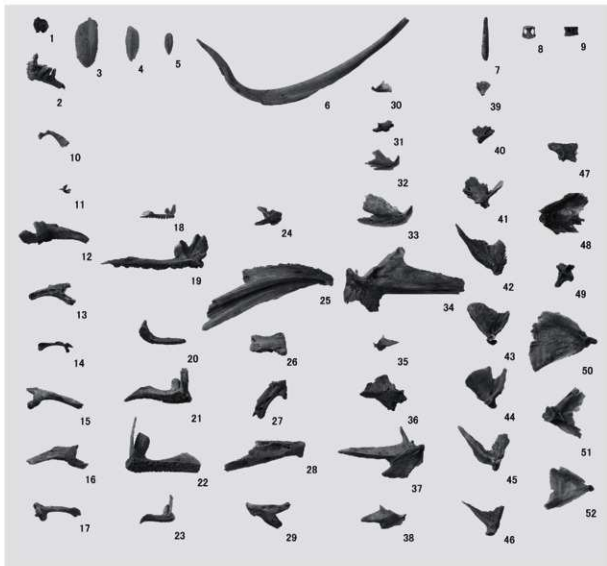
図版40



遺構・包含層出土の骨角器



動物遺体(1)

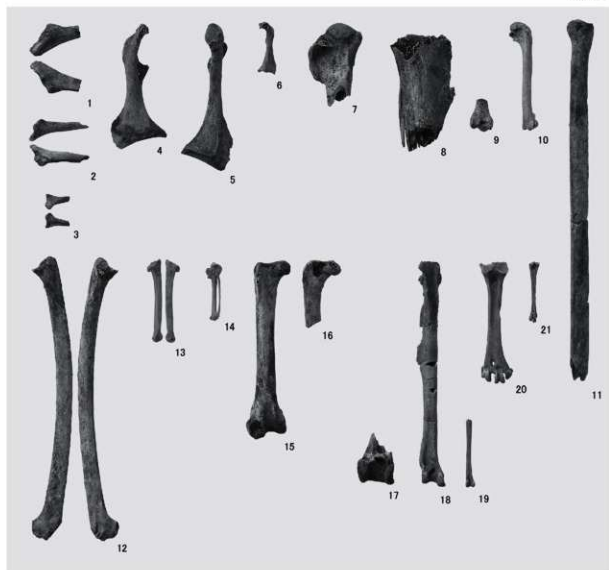


動物遺体(2)

ツノサメ科 (7背鰭棘、8椎骨) ニシン (1耳骨、10主上顎骨、24歯骨、30角骨、39方骨) ウグイ属 (2咽頭骨、31角骨、40方骨、47主鰓蓋骨) サケ科 (9椎骨、32~33角骨、41方骨) タラ科 (3~5耳石、11~12主上顎骨、18~19前上顎骨、25歯骨、34角骨、42方骨、48主鰓蓋骨) フサカサギ科 (13主上顎骨、20前上顎骨、26歯骨、35角骨、43方骨、49主鰓蓋骨) アイナメ科 (14~15主上顎骨、21前上顎骨、27歯骨、36角骨、44方骨、50主鰓蓋骨) カジカ科 (16主上顎骨、22前上顎骨、28歯骨、37角骨、45方骨、51主鰓蓋骨) カレイ科 (6第一血管間棘、17主上顎骨、23前上顎骨、29歯骨、38角骨、46方骨、52主鰓蓋骨) (縮尺1/2)

前頁の動物遺体(1)

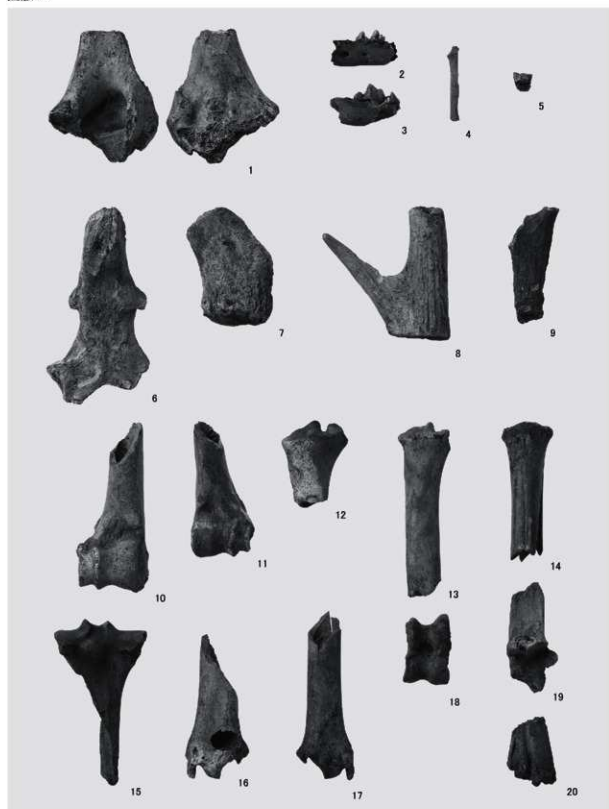
1. シロガイ? 2. ユキノカサガイ? 3. クロタマキビガイ? 4. エゾタマキビガイ 5. アツタマキビガイ? 6. ウミナシ科
7. エゾフネガイ 8. チシマタマガイ 9. チシマタマガイふた 10. エゾチヂミボラ 11. コウダカマツムシガイ 12. ヒメ
エゾボラ 13. クロスジムシロガイ 14. エゾタマキガイ 15. エゾキンチャクガイ 16. エゾイシカゲガイ 17. エゾワスレ
ガイ 18. ヲバガイ 19. ホタテガイ 20. アサリ 21. エゾイソシジミ 22. ケショウシラトリガイ 23. ヒメシラトリガイ
24. サラガイ 25. オオノガイ 26. マガキ 27. オオパンヒザラガイ 28. フジツボ 29. カニ類 30. ウニ顎骨片(a) 31. ウニ
顎骨片(b) 32. ウニ中間骨 33. ウニ殻 (縮尺1/2)



動物遺体(3)

アビ目 (4島口骨、7上腕骨、12尺骨) アホウドリ科 (8上腕骨、15大腿骨、17脛骨) ウ科 (1肩甲骨、5島口骨、16大腿骨、18脛骨、20足根中足骨) ハクチョウ属 (11桡骨) カモ科 (2肩甲骨、9上腕骨) ウミスズメ科 (3肩甲骨、6島口骨、10上腕骨、13尺骨、14手根中手骨、19脛骨、21足根中足骨)

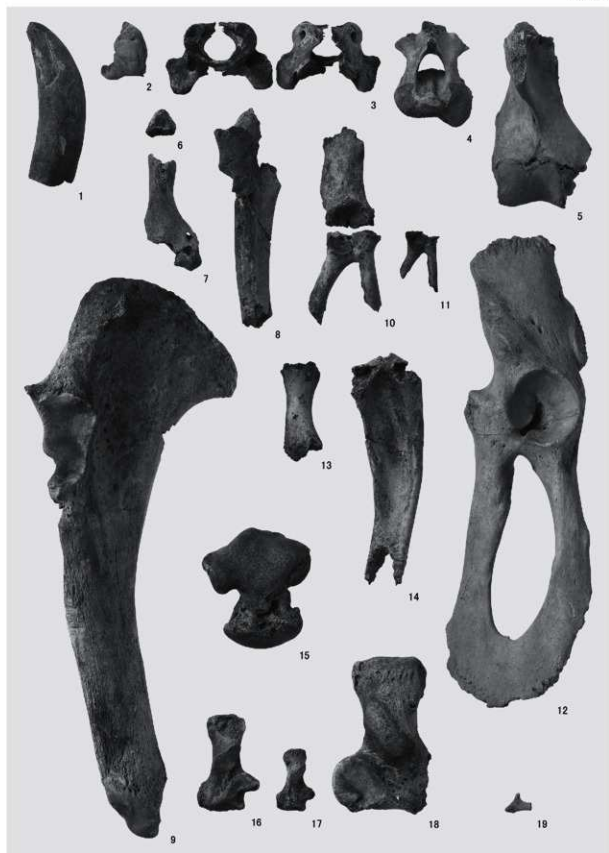
(縮尺1/2)



動物遺体(4)

ヒダマ (1上腕骨) イヌ (2～3下顎骨) クロテン (4尺骨) ウマ (5下顎第一切歯?) エゾシカ (6～9角、10～11上腕骨、12～13腕骨、14中手骨、15～17脛骨、18趾骨、19踵骨、20中足骨?)

(縮尺1/3)



動物遺体(5)

クジラ目 (1歯) オットセイ (3椎骨、6上腕骨、10～11尺骨、13大腸骨、16～17踵骨、19陰茎骨) トド (9尺骨、12寛骨、15距骨、18踵骨)
 アシカ科 (4椎骨、5上腕骨、8尺骨) アザラシ科 (2頭蓋骨(耳周骨)、7上腕骨、14尺骨)

(縮尺1/3)

引用参考文献

論文・論考・書籍等

- 伊藤初太郎 1935 「考古学上の根室の遺物と遺跡」 安曇写真製版所
- 伊藤初太郎 1938 「根室半島部に存在せるチャシ」 『考古学雑誌』28巻7号
- 川上 淳 1996 「18世紀～19世紀初頭の千島アイヌと千島交易ルート」『メナシの世界』北海道・東北史研究会 編
北海道出版企画センター
- 北橋保男 1941 「根室半島カツラムイにおける竪穴発掘」 『上代文化』21号
- 北橋保男・岩崎卓也 1977 「北海道根室市オンネモト遺跡の調査」 『考古学ジャーナル』15号
- 北橋保男・須貝 洋 1953 「北海道根室半島トーサムボロオホーツク式遺跡調査報告」 『上代文化』24号
- 北橋保男・前田 潮・山浦 清・金澤文雄 1984 「北海道根室市トーサムボロ遺跡オホーツク文化住居址」
『日本考古学協会年報』34
- 見玉作左衛門・大場利夫 1956 「根室国温根沼遺跡の発掘について—温根沼式押型文遺跡—」『北方文化研究報告』11 北海道大学北方文化研究室
- 榊田朋広 2006 「トビニタイ式土器における文様構成の系統と変遷」『物質文化』81 物質文化研究会
- 澤 四郎・北橋保男 1963 「根室市ベニケムイ出土の早期縄文土器」 『縄路の古代文化』5 輯
- 豊原照司 1989 「根室半島における考古学的調査—その歩み—」 『根室市博物館開館準備紀要』3
- 長尾文六 1934 「根室弁天島」 『北海道倶楽部』第1巻4号
- 西本豊弘編 2003 「第1部根室市弁天島遺跡発掘調査報告」『国立歴史民俗博物館研究報告』第107集
- 平光吾一 1929 「千島および弁天島出土土器破片について」 『人類学雑誌』第44巻4・5・7号
- 広田良成 2012 「根室市トーサムボロ湖周辺竪穴群オホーツク文化期の土坑墓について」 『北海道考古学』第48輯
- 北地文化研究会 1968 「根室市弁天島西貝塚調査概報—1968年度—」 『考古学雑誌』第54巻第2号 日本考古学会
- 北地文化研究会 1979 「根室市弁天島西貝塚調査報告」 『北海道考古学』第15輯
- 三浦正人・広田良成 2008 「根室市トーサムボロ湖周辺竪穴群の調査概要」 『日本考古学』31 日本考古学研究会

団体組織刊行物

- 澤 四郎・西 幸隆・松田 猛 1984 「道東海岸線の遺跡分布」『道東海岸線総合調査報告』 釧路市立博物館
- 道東の自然史研究会 編 1999 「道東の自然を歩く」 北海道大学図書刊行会
- 西田 茂・松島義章・川上 淳 1992 「根室市ヒリカクタ遺跡・トーサムボロ遺跡採集の資料」『根室市博物館開館準備紀要』第6号 根室市博物館開設準備室
- 文化庁 1979 『全国遺跡地図 北海道Ⅱ』 文化庁文化財保護部
- ベドロジスト懇談会 1984 『土壌調査ハンドブック』 博友社
- 北地文化研究会 1974 「根室市城遺跡分布調査報告書」 根室市教育委員会
- 北海道教育委員会 1977 「埋蔵文化財包蔵地一覧表（付 指定文化財）（全道編）」
- 松井伸博ほか 1987 「根室市の自然と文化財」 根室市教育委員会
- 松田 猛・西 幸隆・澤 四郎 1979 「根室・厚岸間の遺跡分布調査」 『釧路市立郷土博物館報No.258』 釧路市立郷土博物館
- 松田 猛・西 幸隆・澤 四郎・北橋保男 1980 「根室半島の遺跡踏査報告」 『釧路市立郷土博物館報No.261』 釧路市立郷土博物館
- 埋蔵文化財発掘調査報告書
- 網走市教育委員会 2009 「史跡 最寄貝塚—平成15～20年度—史跡最寄貝塚史跡等—登録記念物保存修理事業発掘調査報告書—」
- 筑波大学歴史・人類学系 1980 「筑波大学先史学・考古学研究調査報告Ⅰ 北海道東部地区の遺跡研究」
- 東京大学大学院人文社会科学系研究科考古学研究室・常呂実智施設 2012 「トコロチャシ跡遺跡オホーツク地点」
- 根室市教育委員会 1966 「北海道根室の先史遺跡」
- 根室市教育委員会 1974 「オンネモト遺跡」
- 根室市教育委員会 1983 「根室市西月ヶ岡遺跡発掘調査報告書」

- 根室市教育委員会 1994 『徳香堅穴群発掘調査報告書』
 根室市教育委員会 1994 『コタンケシ遺跡発掘調査報告書』
 北地文化研究会 2004 『根室市トーサムボロ遺跡R-1 地点の発掘調査報告書ーオホーツク文化末期の堅穴ー』
 北地文化研究会 2009 『根室市弁天島遺跡14号堅穴の調査ーオホーツク文化開始付浮文期の大居住跡ー』

〔財〕北海道埋蔵文化財センター刊行物

- 〔財〕北海道埋蔵文化財センター 2004 『道跡が語る北海道の歴史』
 財団法人北海道埋蔵文化財センター25周年記念誌
 (公財)北海道埋蔵文化財センター 2019 『調査年報31 平成30年度』
 (公財)北海道埋蔵文化財センター 2021 『調査年報33 令和2年度』

〔財〕北海道埋蔵文化財センター・(公財)調査報告書(北埋調報)

- 〔財〕北海道埋蔵文化財センター 1986 『ユオイチャシ跡 ポロモイチャシ跡 二風谷遺跡
 ー沙流川総合開発事業(二風谷ダム建設用地内)埋蔵文化財発掘調査報告書ー』 北埋調報 26
 〔財〕北海道埋蔵文化財センター 2002 『根室市 徳香堅穴群
 ー一般国道44号根室道路建設工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書ー』 北埋調報170
 〔財〕北海道埋蔵文化財センター 2003 『根室市 徳香堅穴群(2)
 ー一般国道44号根室道路建設工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書ー』 北埋調報184
 〔財〕北海道埋蔵文化財センター 2004 『根室市 徳香堅穴群(3)
 ー一般国道44号根室道路建設工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書ー』 北埋調報198
 〔財〕北海道埋蔵文化財センター 2005 『根室市 徳香川右岸遺跡
 ー一般国道44号根室道路建設工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書ー』 北埋調報212
 〔財〕北海道埋蔵文化財センター 2008 『釧路町 天寧1遺跡
 ー一般国道44号釧路町釧路外環状道路工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ー』 北埋調報254
 〔財〕北海道埋蔵文化財センター 2011 『釧路町 天寧2遺跡(2)
 ー町道床丹5号線道路改良事業埋蔵文化財発掘調査報告書ー』 北埋調報274
 〔財〕北海道埋蔵文化財センター 2012 『釧路町 下幌呂1遺跡
 ー釧路鶴居弟子屈線(A交-57)交付金工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ー』 北埋調報287
 (公財)北海道埋蔵文化財センター 2015 『根室市 トーサムボロ湖周辺堅穴群(1)
 ー根室半島線交付金工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ー』 北埋調報317
 (公財)北海道埋蔵文化財センター 2016 『根室市 トーサムボロ湖周辺堅穴群(2)
 ー根室半島線交付金工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ー』 北埋調報324
 (公財)北海道埋蔵文化財センター 2017 『根室市 幌茂尻1遺跡
 ー根室道路事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ー』 北埋調報340
 (公財)北海道埋蔵文化財センター 2018 『根室市 温根沼3遺跡
 ー一般国道44号根室市温根沼改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ー』 北埋調報342
 (公財)北海道埋蔵文化財センター 2019 『根室市 温根沼2遺跡
 ー一般国道44号根室市温根沼改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ー』 北埋調報354
 (公財)北海道埋蔵文化財センター 2019 『根室市 別当賀一帯沢川遺跡
 ー根室防雪事業改良等工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ー』 北埋調報355

報告書抄録

ふりがな	ねむろし とーさむぼろこ しゅうへん たてあなぐん (3)							
書名	根室市 トーサムボロ湖周辺竪穴群 (3)							
副書名	根室半島線交付金工事に伴う埋蔵文化財調査							
シリーズ名	(公財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書 (北埋調報)							
シリーズ番号	第367集							
編著者名	広田良成・笠原 興・山中文雄・立田 理							
編集機関	公益財団法人 北海道埋蔵文化財センター							
所在地	〒069-0832 北海道江別市西野幌685番地1 Ⅱ011-386-3231							
発行年月日	西暦2022年3月25日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
トーサムボロ湖 周辺竪穴群	北海道 根室市 豊里 43-1 外, 44-3 地先	01223	N-01-01	A地区 G40杭	20180802 ～ 20181026	395㎡ 1,267㎡ 合計1,662㎡	道道根室半島線 改良工事に伴う 事前調査	
				43° 23' 19.8"	145° 44' 47.7"			20200805 ～ 20201029
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
トーサムボロ湖 周辺竪穴群	集落跡	縄文時代早期	竪穴住居跡	土器（甕椀式）	石刃鎌石器	・縄文時代早期、オ ホーツク文化期、 アイヌ文化期の集 落跡		
		オホーツク文 化期	土坑 骨片集中	オホーツク式土器	石器等			
	アイヌ文化期	平地住居跡 貝塚 土坑 杭穴・柱穴	石器等 金属製品	骨角器	動物遺存体（貝類 獣骨等）	・アイヌ文化期 平地住居跡・貝塚		
散布地	縄文時代中 期・後期・晩 期） トビニタイ文 化期 檜文文化期			縄文土器 トビニタイ式土 器 檜文土器	石器等	・石刃鎌石器群		
要約	トーサムボロ湖周辺竪穴群は根室半島東部にあるトーサムボロ湖周辺に位置する竪穴群である。過去に東京教育大学（現筑波大学）、北地文化研究会等による学術調査、平成21（2009）年からは当センターによる行政発掘調査が断続的に行われている。今回の調査は平成30・令和2（2018・2020）年度に実施したもので、オホーツク海につながる半島状に突き出た湖口の西側（A地区）を対象とした。なお、平成22・23年度の調査地区に隣接する範囲である。今回の調査範囲は現道下で、遺構・遺物の遺存状況は過年度調査に比べ良くなかった。							

(公財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書 第367集

根室市 トーサムボロ湖周辺竪穴群(3)

－ 根室半島線交付金工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 －

令和4(2022)年 3月25日

編集・発行 公益財団法人 北海道埋蔵文化財センター
〒069-0832 北海道江別市西野幌685番地1
TEL 011(386)3231 FAX 011(386)3238
[URL]<http://www.domaibun.or.jp/>
[E-mail]mail@domaibun.or.jp

印刷 三浦印刷株式会社
〒064-0809 札幌市中央区南9条西6丁目
TEL 011(511)6191 FAX 011(512)6041
[URL]<http://www.miuraprinting.jp>
[E-mail]miura@jeans.ocn.ne.jp

